

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	喫茶サービス活動を通じた地域活動への参加・交流			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	兵庫県立阪神特別支援学校分教室		
	活動 グループ名	WORK(喫茶サービス)	参加学生 等人数	28人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	普通科職業コース		
	責任者氏名	村田 敦子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	時友団地連合会		
	代表者氏名	木村 盛一	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	(1)喫茶サービス活動を通して地域との交流を深め、接客技能と社会性の向上を図り、就労意欲等を高めることで地域福祉活動を担う人材を育成する。 (2)地域や高齢者の方々とふれ合う機会を設けることで、シチズンシップやコミュニケーション能力の向上を図り、ボランティア精神・自己有用感を養う。 (3)尼崎市、阪神特別支援学校分教室、時友団地自治会、尼崎市福祉協議会、武庫地区振興センター等と連携し、地域コミュニティの活性化を図る。 (4)喫茶活動を通じて、住民同士や生徒と住民間でゆるやかな見守りの場とし、地域住民にとっての安心につなげる。また、フレイル予防に関する啓発冊子を生徒から喫茶利用される地域住民に配布し、高齢の方々の健康増進につなげる。			
活動内容及び 実績、評価	①生徒対象に「出張喫茶を通して、就労への興味関心や意欲が高まったか」というアンケートをとったところ、8割の生徒が「高まった」と回答し、出張喫茶での生きた経験がそのような意欲の高まりにつながったと考える。また去年に引き続き、今年も「お店づくり」の授業を行い、生徒主体で6周年記念イベントを盛り上げた。たくさんのお客様に楽しんでいただいたばかりでなく、生徒もより主体的に行動できていたのが印象的である。 ②今年度は、武庫東生涯学習プラザの Q スペースをお借りして「MUKO & TARO COFFEE」を実施した。これは分教室の2年次生徒が「総合的な探究の時間」の授業において、武庫之荘総合高校の2年次生7名とともに企画、準備、運営し、名称やメニュー、店内装飾などに対して「どうしたらより多くのお客様に喜んでいただけるか」を軸に考え、実行することができた。また、武庫まつりやオレンジリボンフェスタではテイクアウトのコーヒーの提供を行い、地域の方々に知っていただくきっかけにもなった。さらに、武庫地域課の職員さんがみんなの HR で広報活動を行っていただいたことにより、より多くの方に来店していただくことにつながった。 ③授業で繰り返して練習する技術練習などは自信につながっているようだが、臨機応変に動く力などについては、まだまだ身につけたいと感じている生徒が多い。そのため、技能向上とともに、「自分のお客様ならどうしてほしいか?」という客観的視野も育んでいきたいと考える。			

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。